うぬぼれではない、自信と勇気と行動力を持った人を育てたい。

お父さん
お母さん
保護者の方へ

「本当の強さ」って何でしょう…。

相手を倒す力や技を持ち、優位に立つことが強さでしょうか。ケンカが強くても武器には負けます。乱暴者や他人をいじめたりする者におじけづかない心の強さと、どうしたら困ったことから逃れられるのかという賢さ、負けない体力、そして自分の心に負けないことが強さです。もうダメだと思わずに、何度でも立ち向かう勇気や行動力を養います。

人と競うことが目的ではない

スポーツで体を鍛えたりリフレッシュしたりするのはよいのですが，勝敗がつくことは避けられないでしょう。ややもすれば他者と競い自分が上位になることを第一に考えがちです。「半分は自分のことを考えるけれど、もう半分は他の人のことを思いやれる」。少林寺拳法は相手も自分と一緒に成長し、上手になっていくことをめざしています。

少林寺拳法の特徴

山形いずみ道院
道院長　後藤　学

昭和44年生
大学生から続けています。最近はスポーツや習い事など何もせず、家でゲーム、という子どもが多いように思います。もったいないですね。ちがう学年、学校の友だちといっしょに、ぜひ心と体をきたえてほしいです。

守主攻従（しゅしゅこうじゅう）（防いだ後に反撃する）

少林寺拳法の技は、まず受けから始まり、反撃するように組み立てられています。

拳禅一如（けんぜんいちにょ）（身体と心をともに鍛える）

肉体と精神は別々ではなく一体です。お互いに楽しんで修行する中で、自分の身体と心をきたえます。

力愛不二（りきあいふに）（力と愛、二つを考えて行動する）

やさしさ（愛）を実行するにはどうすればよいか考える、行動する「力」が必要です。

子どもの皆さんはもちろんのこと、お父さんやお母さんも一緒に入門することができます。親子で同時に入門する方は多くいらっしゃいます。また、中高生のご家族や会社の同僚など興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご一緒においで下さい。お待ちしております。